

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和5年4月1日

盛岡市議会議長

竹田浩久様

議員氏名 村田芳三

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和4年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支 出	調査研究費	68,919 円	会派視察交通費および宿泊費
	研修費	7,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	524,081 円	市政報告ハガキ印刷代および郵送代
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	600,000 円	
	差引残余 ①-②	0 円	

様式第 5 号

政務活動費出納簿

【令和 4 年度分】

(単位：円)

年月日	内 容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳									
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	
R4. 4. 8	政務活動費交付金	300,000											
R4. 7. 15	市政調査会拠出金		7,000		7,000								
R4. 9. 2	市政報告ハガキ印刷代		28,116			28,116							
R4. 9. 6	市政報告ハガキ郵送代		226,611			226,611							
R4. 10. 7	政務活動費交付金	300,000											
R4. 11. 9	R4. 10. 19-21会派視察旅費		68,919	68,919									
R4. 12. 30	市政報告ハガキ印刷代		27,335			27,335							
R5. 1. 6	市政報告ハガキ郵送代		52,983			52,983							
R5. 1. 17	市政報告ハガキ郵送代		189,036			189,036							
	経費小計			68,919	7,000	524,081							
	合計額	600,000	600,000							差引残余額		0	

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R4. 11. 9	68,919 円	R4. 10. 19~21会派視察旅費	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	68,919 円		

様式第7号

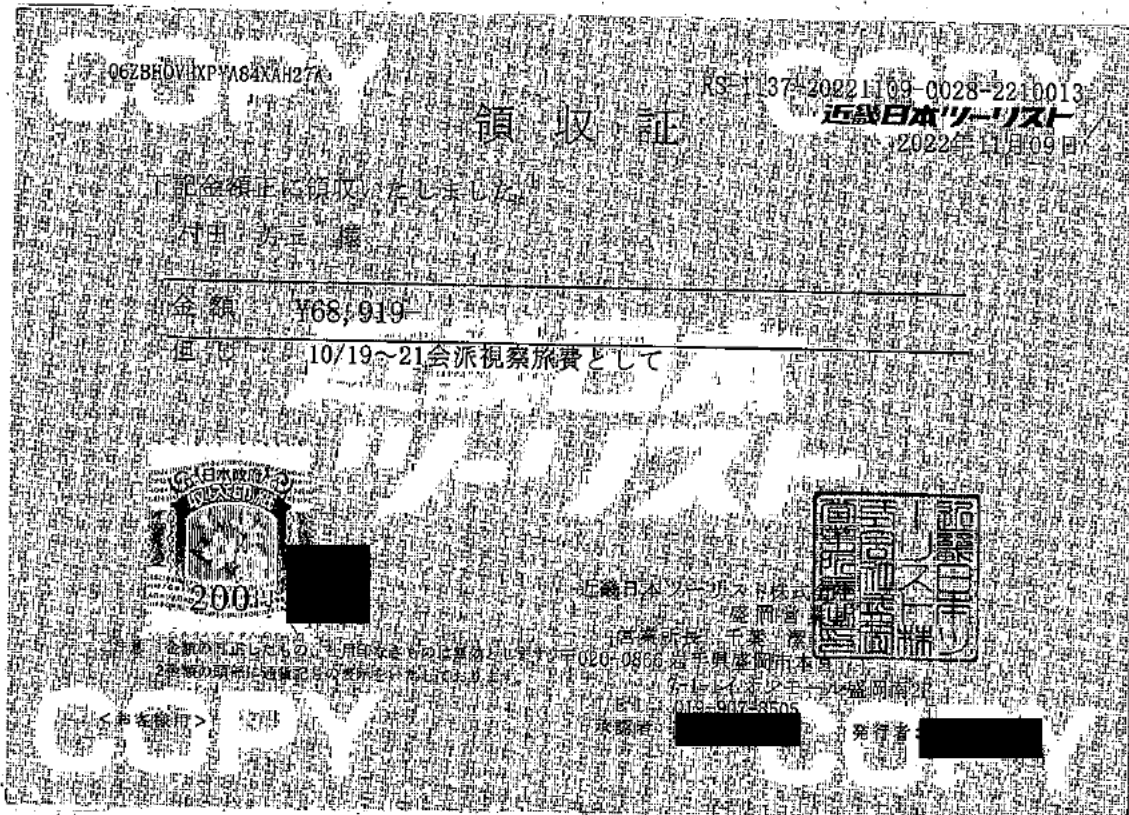
政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R4.11.9
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	68,919	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	68,919	円

【支払概要】	項 目	金額(円)
盛友会 R4.10.19~21 越谷、上田、軽井沢 行政視察	JR運賃(盛岡⇄上田、北千住⇒東京、東京⇒大宮)	18,790
	新幹線特急券(盛岡⇄大宮、東京⇒上田、上田⇒軽井沢⇒大宮)	20,730
	東武鉄道運賃(大宮⇒越谷⇒北千住)	740
	東京宿泊料	12,100
	軽井沢宿泊料	14,800
	企画料	1,759
	合 計	68,919

領収書等添付欄 別紙に添付



視 察 等 概 要 書

議員氏名 村田芳三

会派名	盛友会
実施日	令和4年10月19日(水)
参加者	櫻裕子、村田芳三、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫 計9名
視察先および調査項目	埼玉県越谷市 ・パートナーシップ制度について ・新市庁舎建設について
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none">1. パートナーシップ制度について<ol style="list-style-type: none">(1) 制度の概要(2) 成果と課題2. 新市庁舎建設について<ol style="list-style-type: none">(1) 取組の経緯、PFIの検討(2) 市民サービス向上への取り組み、防災への取り組み <p>【所感】</p> <p>パートナーシップ制度については、制度導入に際し、十分な議論をして身近で普通の状態であることを周知していく必要を確認した。</p> <p>また、新庁舎整備については、川の隣接地である共通点、建設資金の圧縮の必要性、DX対策の推進など共通した課題があり、対策を先行している状態を確認した。まちの中心が市役所であるとの必要性を確認して、今後の議論の推進が必要である。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

越谷市視察報告書

日 時	令和4年10月19日(水) 13:30 ～ 15:00
場 所	越谷市役所
視察項目	・パートナーシップ制度について ・新市庁舎建設について
先方対応者	市長公室長 高橋明雄 様 人権・男女共同参画推進課参事兼課長 中村重和 様 総務部庁舎管理課 課長 斎藤仁 主幹 山後博昭章 主幹 高橋邦彦

視察内容

【主な内容】	<p>【パートナーシップ制度】</p> <p>1. パートナーシップ制度の導入に至るまでの経緯</p> <p>令和元年12月議会でレインボーさいたまの会より「パートナーシップ制度」を求める請願が提出され、全会一致で採択。その後パブリックコメントを経て令和3年4月1日よりパートナーシップ宣誓制度を開始これまでに14組に証明書を交付された。</p> <p>2. パートナーシップ制度の内容</p> <p>(1) 「パートナーシップ」とは</p> <p>双方または一方が性的指向または性自認に係る性的少数者であり、相互の協力により継続的な共同生活を行い、互いを人生のパートナーとすることを約した二人の関係をいう。</p> <p>(2) 宣誓を行うことができる方</p> <p>宣誓をされる二人が、次の全ての要件を満たしている必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣誓を行う当日に、民法に規定される成年であること。 ・市内に住所を有している、または市内への転入を予定していること。 ・配偶者（事実上の婚姻関係にある者を含む。）および現にパートナーシップの関係にある者がいないこと。 ・お二人が民法に規定されている近親者同士でないこと。（直系血族、三親等内の傍系血族、直系姻族の関係でないこと。） <p>受けられる行政サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市営住宅の入居資格 ○民間事業者の一部では携帯電話の家族割生命保険の受取人の適用など、サービスを提供している事業者もある。
--------	---

3. 成果と課題

市職員・教職員のためにガイドラインを作成配布

職員研修を受講した職員に啓発缶バッジ・ピンバッジを配布

性別欄の取り扱い・多機能トイレ

「自分には偏見がある、だからこそ気を付ける意識がたいせつである」

アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）



【質疑応答】

①

Q パブリックコメントにはどのような意見があったか

A 大多数は賛成 一部にはこれまでの家族制度が壊れる、事実婚も認めてほしいという意見があった。

Q 公営住宅などのメリットは

A 市営住宅の入居資格が得られるようになった

Q 教職員は児童生徒にどのように対応していくのか、

A 学校現場でガイドラインを活用するよう、教員向けの研修をしている
性的少数で悩んでいる生徒に対して子供向けに研修会なども開催

②

Q 制度を進めるうえで過激な意見や反対意見はなかったか

A 12月の請願採決時に2名の議員が退席した。

反対意見もあったが議会が背中を押してくれた。

③

Q 行き過ぎた男女平等が権利の平等と性の多様性に弊害をもたらしてはいないか

A まさに埼玉県議会でもこれが議論されている。犯罪行為を正当化することはあってはならず、性的少数者の権利擁護を主たる目的にしなければならない。今後の啓発・教育をしっかりとしなければならない。

④

Q 特定の団体の利益のために性的少数者が利用されてはいけない。次のステップに向かう動きはあるか

A 性の多様性に理解を深めてほしい。要綱にしたのは市長権限でできる。条例ではない。理念条例には向かうかもしれない。啓発・教育に力を入れていく。

【まとめ】

今回、越谷市様のパートナーシップ制度を調査・研究し、今後盛岡市においても導入されるであろうパートナーシップ制度の様々な課題が把握できた。性的少数者への適切な対応や支援、正しい知識の普及啓発等についてさらなる検討を行わなければならないことを認識しました。

【主な内容】

【新市庁舎建設】

新庁舎について

○経緯

市役所旧本庁舎は、昭和44年の建設以来、およそ50年が経過し、老朽化対策とともに、平成13年に行った耐震診断の結果では、「大規模地震が発生した場合、とうかいまたは崩壊する危険性が高い」とされ、地震への対策が喫緊の課題になっていた。

平成25年4月 越谷市本庁舎整備審議会 設置

平成26年9月 越谷市本庁舎整備基本構想 策定

平成28年3月 越谷市本庁舎建設基本計画 策定

平成28年10月 越谷市本庁舎建設基本計画 改訂

平成30年3月 越谷市本庁舎建設基本計画 確定

その後、実施設計を行い、令和元年より新庁舎建設を着工し現在に至る。

○PFIの検討

基本計画策定時に検討

保守管理を市職員がやっているためVFMが出ない。一般方式を採用

○庁舎の特徴

水辺環境を生かした設計（水郷テラス）

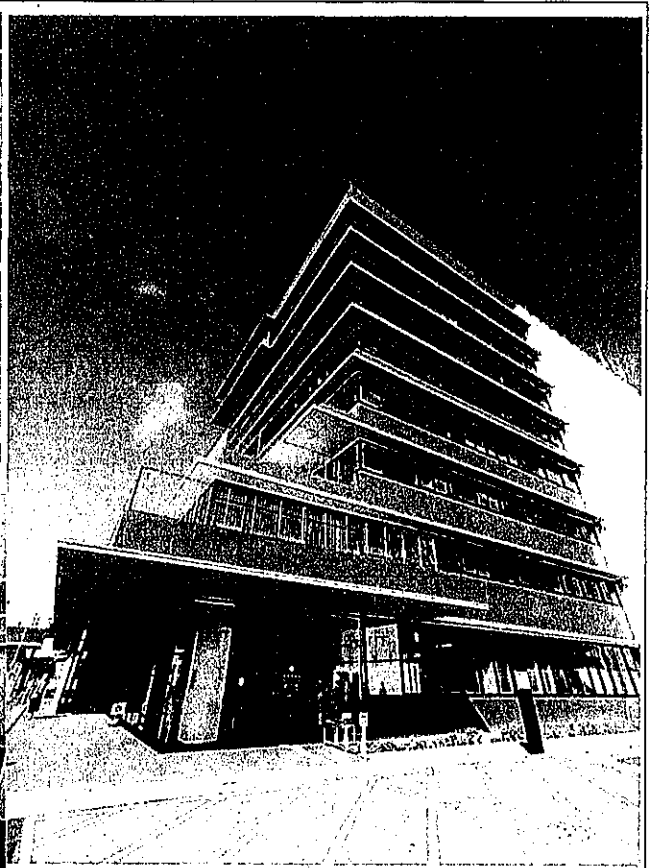
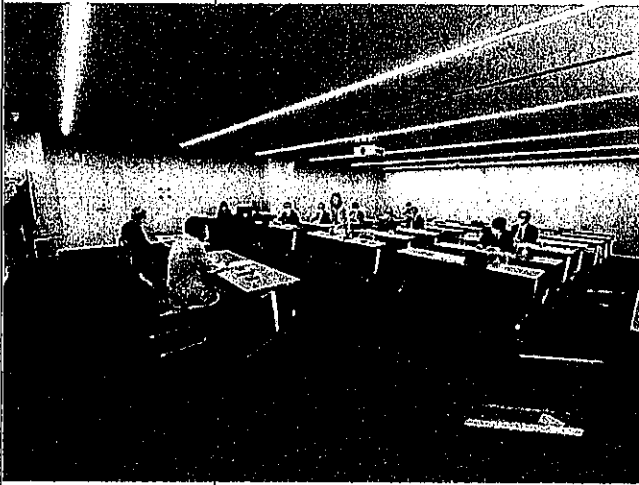
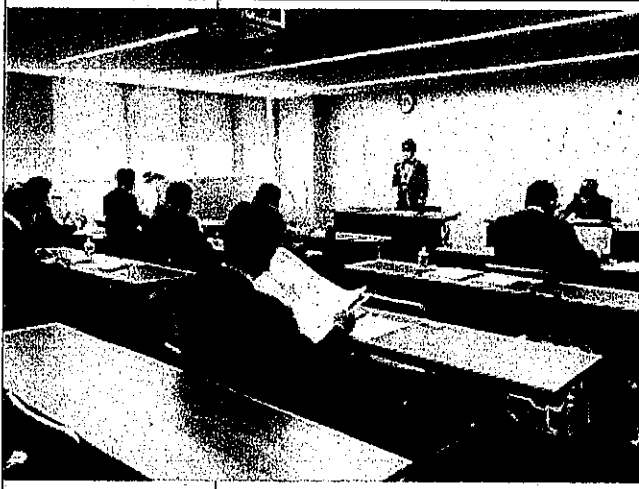
市民協働ゾーンは庁舎の中心エントランスホール・多目的保ホールを設置
コンビニ・カフェを設置待ち時間のストレスを軽減

○新庁舎整備と市民サービス向上の取り組み

待ち時間の見える化と上記カフェなどで市民サービスを向上
駐車場の待ち時間をわかるようにし、混雑の緩和を目指している。

○防災の取り組み

救援物資を受け取り出来るよう、屋上にホバリングスペースを設置
執務室・天井が落下しないよう天井を張っていない。床吹出空調を採用
暑い夏に対応するためLOW-Eガラスを採用



視察等概要書

議員氏名 村田 芳三

会派名	盛友会
実施日	令和4年10月20日(木)
参加者	櫻裕子、竹田浩久、村田芳三、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、 浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫 計11名
視察先および 調査項目	長野県上田市 ・産学官連携支援施設「浅間リサーチエクステンションセンター」(AREC)について
視察の概要 および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AREC設置の背景 2. 中小企業の支援のポイントと支援事例 3. 東信州10市町村広域連携による産業振興 <p>【所感】</p> <p>ARECは、上田市を中心に周辺の10市町村と連携し成果をあげている。これはひとえにセンター長の岡田基幸氏の情熱によるものと推察される。</p> <p>補助金目当ての施設ではなく、参加企業が資金を提供してでも支えていくように期待され、それに応える新しい考えが提案され実現されている。</p> <p>センター長の多種多様な領域で尽力されてきたことが生かされていると感じた。成長を期待しすぎ成果を早急に求めてはいけない、このような組織を盛岡市においても参考にし、情熱をもって産学官連携にあたることを期待するところである。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

上田市視察報告書

日時	令和4年10月20日(木) 13:00 ~ 14:30
場所	上田市 信州大学繊維学部内 AREC
視察項目	産学官連携支援施設 (AREC) について
先方対応者	浅間リサーチエクステンションセンター (AREC) 信州大学繊維学部特任教授工学博士 センター長・専務理事 岡田基幸 様

視察内容

【主な内容】

1. AREC 設置の背景

地域の企業、信州大学、行政が連携して新技術等の共同研究開発を促進し、産学連携、産産連携を活性化させて地域産業を振興することを目的として信州大学繊維学部キャンパス内に、2002年、6億円の補助金を活用し設置した。

1年間の収入は約3億円

ARECとは

- ①産学官連携
- ②人材確保・育成
- ③企業支援

特徴 地方都市活動25年目・会員320社/100団体・自助独立
AREC18室、Fi42室、などすべて満室

2. 中小企業の支援のポイントと支援事例

マッチング支援

(例) 野菜カット事業者

たまねぎの皮の廃棄コストの軽減のため何か
活用できないか? → 豚の餌 → 飼料から食品へ転換
→ 健康食品として各賞受賞
長野県内のスーパー等で販売されている。



3. 東信州10市町村広域連携による産業振興

上田市は長野県で3番目の規模、上田市広域連携の旗振り役として動こうとしてもなかなか難しかった。そんななか当時の議長が各市町村に合意を取り付ける趣意書を作成し連携のため奔走。

上田市単独では難しかった事業が10市町村の連携で可能になる。

アフターコロナを見据え、産学官の叡智の結集で地域の産業振興の基盤を広域連携で丁寧に再構築。

企業に伴走四半世紀、見えてくる地方の変化の波頭
理系神話の脱却=必要スキル明確化

人材育成・人材還流 地方創生のカギ

【質疑応答】

浅沼議員

Q ずっと満室だと入居待ちの企業の対策は？国家プロジェクトの取り組みは？

A AREC が開いてなくても Fii などを紹介、空室があると家賃が入らないので常時満室で運営したい。

農業関連の国家プロジェクト・炭素繊維のリサイクルなどに取り組み。

Q 学生との連携で参考になる取り組みは？

A ナノファイバーを作っている学生がいったん就職して、戻ってきてベンチャーを起業。

学生時代は気づかなかった研究が就職することにより再度魅力に気づいた。

Q AREC の役割は？

A 金融機関を紹介するなど資金調達の支援をしている。

村田議員

Q 働き方改革で週休三日制にすればいいとあったが、賃金を安くするのか？

A 働く時間が少なくなれば基本給は下がる。

Q 具体的な企業例は？

A 唐沢農機サービスが導入し就職活動エントリー数が 4000 まで増加した。賃金テーブルを働き方で細分化する。

千葉議員

Q 会員企業を回るのはどのような体制か？

A コーディネーター7 名が 320 社を均等にわけて担当

Q コーディネーターは単独行動か？

A チームで活動する。

Q インキュベーション後の貸工場などの展開は？

A そこは考えていない。卒業企業は自前で工場を建てている。エリア外への転出はない。

このエリアにいるメリットが大きいからだと思う。

中野議員

Q市役所との関係は？課題は？

A関係性はとても良い。岡田氏が市役所出身なので、市役所の求めているものがわかる。

市からいろいろな相談をうけている。良好な関係を保てるよう留意している。

【まとめ】

AREC は上田市という長野県では 3 番目の規模のそれほど大きな自治体とは言えない中、周辺の 10 市町村と連携し成果をあげている。これはひとえに AREC の中心人物であるセンター長の岡田氏の情熱によるものと推察される。大学院博士課程に在学中から上田市役所に入庁し、AREC の立ち上げから企業誘致や関係諸方面との調整など多種多様な領域で尽力されてきたことに敬意を表します。盛岡市においても当例を参考にし、情熱をもって産学官連携に当たられることを期待しますが、そのための仕組みづくりの検討をさらに進めていかなければならないと感じました。



視察等概要書

議員氏名 村田芳三

会派名	盛友会
実施日	令和4年10月21日(金)
参加者	櫻裕子、竹田浩久、村田芳三、中野孝之助、工藤健一、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦、長岡利明、大石仁雄、小笠原秀夫 計11名
視察先および調査項目	長野県軽井沢町 ・MICEの誘致に関する取り組みについて
視察の概要および所感	<p>【視察概要】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 軽井沢町でMICE誘致推進に取り組むこととなった経緯と経過2. MICE誘致推進に取り組む体制と軽井沢町が果たしている役割3. MICEの誘致の今後の取り組み <p>【所感】</p> <p>「ダボス、アスペン、軽井沢」という言葉に代表されるように、日本のなかの会議都市ではなく、世界で戦える会議都市を目指すという考え方でMICEを推進している。</p> <p>古くから天皇陛下の避暑地として、要人警護に十分な経験があることでの評価が、世界的にも評価され、国際会議も多く開催されている。特別なPRをしているのではなく、関係団体からの要望が多い点など、MICEの誘致には十分な検討が必要である。</p> <p>また、軽井沢の街には「飲食店街」がなくホテル内での対応がすべてである。この街の特徴として特記して置くことも重要なポイントようである。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

軽井沢町視察報告書

日時	令和4年10月21(金) 10:00 ~ 11:30		
場所	長野県軽井沢町役場		
視察項目	MICEの誘致に関する取り組みについて		
先方対応者	軽井沢町議会議長		土屋 好生 氏
	軽井沢町観光経済課	G7外相会合担当課長	中山 茂 氏
	〃	課長補佐兼観光商工係長	■■■■ 氏
	〃	観光商工係 主査	■■■■ 氏
	一社) 軽井沢観光協会	業務係長	■■■■ 氏

視察内容

【主な内容】

1. 軽井沢町でMICE誘致推進に取り組むこととなった経緯と経過
 - (1) 「リゾート会議都市」の起こり・・・「軽井沢リゾートMICE」
 - 軽井沢には、もともと「サロン文化」が浸透していた。
⇒ 交流を通じた対話が弾む。
東京では会えない人でも、軽井沢だと会える。
 - サロン文化から発展し、リゾート会議都市への展開のはじまりは1986年。軽井沢青年会議所を母体に、「軽井沢リゾート会議都市推進協議会」を設立した。
 - (2) MICEの目的と意義
 - 会議は数日であるが、スタッフは前乗りすることから、全体としての滞在日数が多くなる。
 - 平日、冬季も含めてオフシーズンに開催可能であることから、宿泊施設の年間稼働平準化を図れる。
 - インバウンドマーケットが期待できる。
 - 会議の合間の交流により、さらなるロコミ効果が期待できる。
2. MICE誘致推進に取り組む体制と軽井沢町が果たしている役割
 - (1) 信頼と実績
 - 令和5年のG7外相会議について、国では本来奈良市での開催を予定していたが、要人射殺事件を受けて、急遽軽井沢に開催地としての打診を受けた経緯がある。
 - この背景は、G7、G20の閣僚会合開催の実績に裏付けられて受け入れ態勢、特に要人警備の実績が奏功したものであった。
 - (2) 町民会議、MICE給食
 - 初のG7会議（2016年G7交通相会議）にあたっての町民会議での発案により、7か国の食材を使った給食により子どもたちにも啓発すべく、「MICE給食」を実施し、好評を博した。
 - (3) ホテル同士の強固な連携⇔行政は最小限の関わり

- MICE推進については、ホテル同士の連携のもと、民間を主体に推進している。
- 行政が必要以上に関与すると、良い結果が生まれない。民間の取り組みに任せ、行政は必要最小限の関与にとどめている。

3. MICEの誘致の今後の取り組み

- 当面は、このG7外相会合の受け入れ態勢を万全に行っていく。
- 「ダボス、アспен、軽井沢」という言葉がある。これから先の軽井沢は、研究機関、学術機関、そして国際会議が開かれる都市として東洋のダボスを目指す。
- この地域ならではの、スポーツ、自然体験型のアクティビティ、芸術・美術機関などによる総合力を発揮するとともに、インフラ整備や開発に関する規制を厳しくし、景観を保っていく。

【質疑応答】

Q：MICEに関する助成制度は。

A：特に行っていない。補助がなくても民間の活力により推進している。

Q：同時通訳の体制は

A：専門用語も含めて説明できる通訳士が必要であるが、各ホテルの対応で人材確保が可能な体制である。

Q：軽井沢のライバル都市は。

A：特に、「この都市がライバル」という意識はないが、課題認識としては、G7サミットの受け入れができないのが弱点である。⇒6機分のヘリポートが必要

Q：移動手段の確保については。

A：バスについては相当数確保している ⇒ 地域で融通しながら確保

Q：軽井沢ブランド維持に関する取り組み

A：1972年に、自然保護対策要綱を制定 ⇒ 風俗店はNG、駅前13m・その他10mの高さ制限、別荘地は1区画面積1,000㎡以上、など。
コンビニの営業許可時間帯は6時～23時 ⇒ 深夜の静穏を維持

Q：コロナ禍での会議のありかた

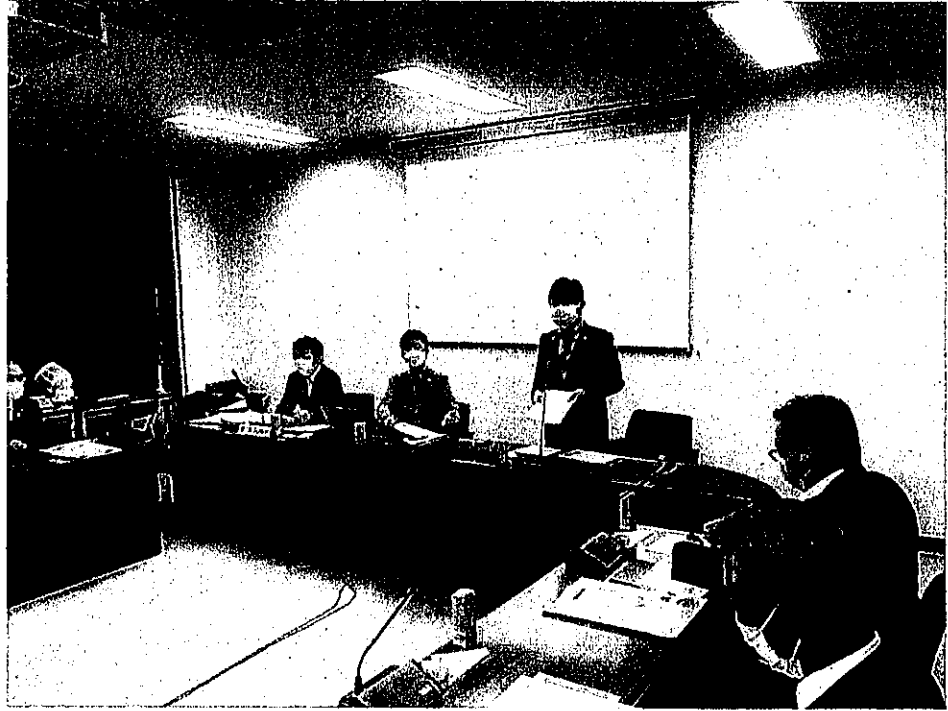
A：一部リモートも試行したが、会議主催者としては、リアル開催であればこそその効果にこだわっている。

【まとめ】

「ダボス、アспен、軽井沢」という言葉に代表されるように、当地では、日本のなかの会議都市ではなく、世界で戦える会議都市を目指すという考え方でMICEを推進している。しかも、今存在する自然環境と施設

を活かしながら、「軽井沢リゾートMICE」を、背伸びするのではなく、自然体で推進しているという点が、特筆すべきところである。

盛岡でのMICE推進にあたっては、①今ある環境をどのように活かすか、②要人警備の体制をどのように整えるか、③滞在価値をどのように創出するか、そして、④プレイヤーの連携をどのように整えるか、という点を重点的に検討すべきと考える。





盛友会 会派視察 日程表 (R4. 10. 19~21)

【10月19日(水)】

盛岡 駅 (9:06) —— (はやぶさ108号) —— (11:31) 大宮 駅
 大宮 駅 (11:44) —— (東武アーバンパークライン) —— (11:59) 春日部 駅
 春日部 駅 (12:09) —— (東武スカイツリーライン) —— (12:18) 越谷 駅
 (昼食：越谷駅周辺)
 越谷 駅 (13:15) —— (徒歩等 (800m)) —— (13:25) 越谷市役所

越谷市 様視察 (13:30~15:00) 担当： XXXXXXXXXX 様
 〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷4-2-1 Tel: 048-963-9261 (直通)
 ・パートナーシップ制度について
 ・新地庁舎建設について

越谷市役所 (15:00) —— (徒歩等 (800m)) —— (15:10) 越谷 駅
 越谷 駅 (15:21) —— (東武スカイツリーライン) —— (15:38) 北千住 駅
 北千住 駅 (15:48) —— (常磐線) —— (16:08) 東京 駅
 東京 駅 (16:15) —— (徒歩等) —— (16:25) 宿泊先

《宿泊》 京王プレッソイン東京駅八重洲口

《夕食》 東京 ニホンバシイチノイチノイチ (東京事務所と懇親会)

【10月20日(木)】

宿泊先 (9:20) —— (徒歩等) —— (9:30) 東京 駅
 東京 駅 (9:44) —— (あさま607号) —— (11:22) 上田 駅
 (昼食：上田駅周辺)
 上田 駅 (12:45) —— (タクシー (2.0km)) —— (12:55) 視察先

上田市 様視察 (13:00~14:30) 担当： XXXXXXXXXX 様
 〒386-0018 長野県上田市常田3-15-1 Tel: 0268-22-0452 (直通)
 ・産学官連携支援施設 (AREC) について

視察先 (14:45) —— (タクシー (2.0km)) —— (14:55) 上田 駅
 上田 駅 (15:36) —— (あさま622号) —— (15:55) 軽井沢 駅
 軽井沢 駅 (16:00) —— (徒歩等) —— (16:10) 宿泊先

《宿泊》 ホテルマロウド軽井沢

《夕食》 ホテルマロウド軽井沢

【10月21日(金)】

宿泊先 (9:40) —— (タクシー (4.2km)) —— (9:50) 軽井沢町役場

軽井沢町 様視察 (10:00~11:30) 担当： XXXXXXXXXX 様
 〒389-0192 長野県北佐久郡軽井沢町長倉2381-1 Tel: 0267-45-8910 (直通)
 ・MICEの誘致に関する取り組みについて

軽井沢町役場 (11:30) —— (タクシー (4.2km)) —— (11:40) 軽井沢 駅
 (昼食：軽井沢駅周辺)

軽井沢 駅 (13:56) —— (あさま618号) —— (14:47) 大宮 駅
 大宮 駅 (15:45) —— (はやぶさ31号) —— (17:32) 盛岡 駅

盛友会会派視察（10/19～21） 参加者名簿

	氏 名	備考
幹事長	櫻 裕 子	
議長	竹 田 浩 久	懇親会・上田市・ 軽井沢町に参加
議員	小笠原 秀 夫	
議員	大 石 仁 雄	
議員	長 岡 利 明	
議員	田 山 俊 悦	
議員	浅 沼 克 人	上田市・軽井沢町 に参加
議員	千 葉 伸 行	
議員	工 藤 健 一	
議員	中 野 孝之助	
議員	村 田 芳 三	

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R4. 7. 15	7,000 円	市政調査会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	7,000 円		


政務活動費支払伝票

使途項目	研修費 /	支出日	R4. 7. 15 //
------	-------	-----	--------------

支出証拠書類の額面金額	7,000 /	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	7,000 /	円

【支払概要】
市政調査会拠出金 /

領収書等添付欄 別紙に添付

領 収 書
村 田 芳 三 様
一 金 7,000円 也
令和4年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。
令和4年7月15日
盛岡市市政調査会 会長 遠藤 政 幸


政務活動費支出簿

使途項目	広報費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R4. 9. 2	28,116 円	市政報告ハガキ印刷代	
R4. 9. 6	226,611 円	市政報告ハガキ郵送代	
R4. 12. 30	27,335 円	市政報告はがき印刷代	
R5. 1. 6	52,983 円	市政報告ハガキ郵送代	
R5. 1. 17	189,036 円	市政報告ハガキ郵送代	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	524,081 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R4. 9. 2
------	-----	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	28,116	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	28,116	円
【支払概要】 市政報告ハガキ印刷代		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

のりしろ

領 収 証

村田 芳三 様

¥28116 也

但し、ハガキ印刷代は
令和 4 年 9 月 2 日 上記金額正に領収致しました

印
紙
欄

有限 伊藤印 有限
会社 印
〒020-0874
岩手県盛岡市南大通 2 丁目
TEL(019)653-2700 FAX(019)653-2707

市民の皆様へ

令和4年9月吉日

盛岡市議会議員

村田 芳三

拝啓 初秋の候 皆様におかれましてはご健勝のこと
とお慶び申し上げます。議会報告をいたします。

○町内会活動等のボランティア保険は一人 350 円の
ころ市の補助により一人 200 円の負担になっている

○クラブ活動（中学生）の加入率は 93.9%

○高齢者の運転免許証自主返納は 561 人から 1070 人
に増加した。

○明石市では所得制限なしの子育て支援を実施してい
る。盛岡市では年収 550 万円以下の世帯が対象。

○英検 3 級—中学生の 40%が取得している。

○医療的ケア児対策—看護師を 10 月から学校へ配置。

○交通系 IC カード JR バスと県北バスで導入済、県交
通では順次増やす。タクシーは 60%ほど導入済。

○奨学金代理返還制度全国で 380 社が利用。盛岡の企
業が加入しているか不明。一部の返還支援はある。

○里親制度 193 組が登録。内 69 組が受け入れ家庭に。

○ヤングケアラー 小学校 3 人中学校 4 人を確認。

○住宅の高断熱化が温暖化防止に貢献。 表面へ

郵便はがき



○米内浄水場の改修工事は R11 年から、約 140 億円
の経費を見込んでいる。配管の耐震化率 30.5%。

米内浄水場完了（移転も有か？） R23 年頃予定。

○いわて盛岡ボールパークの野球場は R5 年 4 月開
場。R5 年はプロ野球公式戦を 3 試合予定。

○小学校教職員全員の PCR 検査で無症状の 3 人が
確認された。クラスター防止が出来た。

○消防ポンプ車の更新は 17 年を目途に計画的に。
時節柄、ご自愛ください。 敬具（政務活動費で作成）

盛岡市馬場町 2-9 盛岡市議会議員 村田芳三 ☎654-2866

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R4. 9. 6
------	-----	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	226,611	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	226,611	円

【支払概要】

市政報告ハガキ郵送代

領収書等添付欄

別紙に添付

領収書

村田 芳三 様

[別納引受]
 第二種通常はがき
 @63 3,597通 ¥226,611

小計 ¥226,611

郵便物引受合計通数 3,597通
 課税計(10%) ¥226,611
 (内消費税等 ¥20,601)
 非課税計 ¥0

合計 ¥226,611
 お預り金額 ¥226,611

印紙税申告納
 付につき趣町
 税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2022年 9月 6日 10:25
 発行No. 220906A2211 端N83箱01
 連絡先: 盛岡南大通郵便局
 TEL: 019-651-1803

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R4. 12. 30
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	27,335	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	27,335	円
【支払概要】 市政報告ハガキ印刷代		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

のりしろ

領 収 証

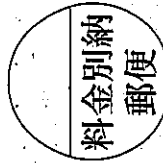
村田 芳三 様

2 7 3 3 5 也

但し、
令和 4 年 12 月 30 日、上記金額正に領収致しました

印
紙
欄

有限 伊藤印 剛 有限
会社
〒020-0874
岩手県盛岡市南大通2丁目1
TEL(019)653-2700 FAX(019)653-2707



- 盛岡市の有機栽培面積は、4.6%である。2050年までに25%が目標である。学校給食へは今は無理。
- 子宮頸がん(HPV)ワクチンはR5年4月から定期接種の対象に(小6~高1)。未接種の11,800余人も対象。
- 2024年からデジタル教科書が登場。タブレットを使用し紙ベースとデジタルの併用になる。
- 盛農卒業生・岩大農学部卒業生、就農者1%のみ？ 農業大学校は70%が就農者になる。
- LED街灯の効果は電気料8,303万円が4,748万円に42.9%の削減。値上げ後も33.8%削減になる。

時節柄、ご自愛ください。(政務活動費で作成)

寒中お見舞い申し上げます

皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年が良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

- 12月議会の主な項目をお知らせいたします。
- 盛岡駅から八幡宮まで、融雪道路でもあり市民や観光客等へのサービスとしてwifi環境を整備する。
- 夜間中学の設置を検討。中学校教育の未就学者が市内に2,300人以上。内92%が80才以上である。
- 難聴者が認知症に発展するとの検知もある。確定はしていない。対策が重要である。
- インフルエンザワクチン接種補助、小中生まで拡大。高齢者にも補助。(11月からだが前倒しを検討)
- コロナの後遺症の実態調査が行われていないため国からの支援がない。市の独自対策も困難な状態だ。
- R2年から保育園96中33に空きがある。7年連続待機児童0の状態である。少子化が進行している。
- R8年までに中学等の部活動を地域の活動へと移管する目標である。受け皿の組織が必要。急務である。

盛岡市馬場町2-9 盛岡市議会議員 村田芳三 ☎654-2866

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R5.1.6
------	-----	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	52,983	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	52,983	円
【支払概要】 市政報告ハガキ郵送代		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

のりしろ

寒中お見舞い申し上げます

皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年が良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

12月議会の主な項目をお知らせいたします。

- 盛岡駅から八幡宮まで、融雪道路でもあり市民や観光客等へのサービスとしてwi-fi環境を整備する。
- 夜間中学の設置を検討。中学校教育の未就学者が市内に2,300人以上。内92%が80才以上である。
- 難聴者が認知症に発展するとの検知もある。確定はしていない。対策が重要である。
- インフルエンザワクチン接種補助、小中生まで拡大。高齢者にも補助。(11月からだが前倒しを検討)
- コロナの後遺症の実態調査が行われていないため国からの支援がない。市の独自対策も困難な状態だ。
- R2年から保育園96中33に空きがある。7年連続待機児童0の状態である。少子化が進行している。
- R8年までに中学等の部活動を地域の活動へと移管する目標である。受け皿の組織が必要。急務である。

盛岡市馬場町 2-9 盛岡市議会議員 村田芳三 ☎654-2866

料金別納
郵便

- 盛岡市の有機栽培面積は4.6%である。2050年までに25%が目標である。学校給食へは今は無理。
- 子宮頸がん(HPV)ワクチンはR5年4月から定期接種の対象に(小6~高1)。未接種の11,800余人も対象。
- 2024年からデジタル教科書が登場。タブレットを使用し紙ベースとデジタルの併用になる。
- 盛農卒業生・岩大農学部卒業生、就農者1%のみ? 農業大学校は70%が就農者になる。
- LED街灯の効果は電気料8,303万円が4,743万円に42.9%の削減。値上げ後も33.8%削減になる。

時節柄、ご自愛ください。(政務活動費で作成)

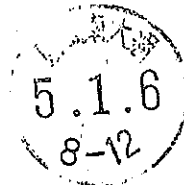
郵便はがき 通数証明書

令和 5年 1月 6日

郵便はがき 841 通受領致しました

発行人住所 盛岡市馬場町 2-9

発行人氏名 村田 芳三



841 × 63 = 52,983.-

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R5. 1. 17
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	223,146	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	189,036	円

【支払概要】

市政報告ハガキ郵送代

領収書等添付欄

別紙に添付

領収書

村田 芳三 様

[別納引受]
第二種通常はがき
@63 3,542通 ¥223,146

小計 ¥223,146

郵便物引受合計通数 3,542通
課税計(10%) ¥223,146
(内消費税等 ¥20,286)
非課税計 ¥0

合計 ¥223,146
お預り金額 ¥223,146

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2023年 1月17日 11:18
発行No. 230117A4542 端N83箱01
連絡先: 盛岡南大通郵便局
TEL: 019-651-1803

郵便はがき

寒中お見舞い申し上げます

皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年が良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

12月議会の主な項目をお知らせいたします。

- 盛岡駅から八幡宮まで、融雪道路でもあり市民や観光客等へのサービスとしてwi-fi環境を整備する。
- 夜間中学の設置を検討。中学校教育の未就学者が市内に2,300人以上。内92%が80才以上である。
- 難聴者が認知症に発展するとの検知もある。確定はしていない。対策が重要である。
- インフルエンザワクチン接種補助、小中生まで拡大。高齢者にも補助。(11月からだが前倒しを検討)
- コロナの後遺症の実態調査が行われていないため国からの支援がない。市の独自対策も困難な状態だ。
- R2年から保育園96中33に空きがある。7年連続待機児童0の状態である。少子化が進行している。
- R8年までに中学等の部活動を地域の活動へと移管する目標である。受け皿の組織が必要。急務である。

- 子宮頸がん(HPV)ワクチンはR5年4月から定期接種の対象に(小6~高1)。未接種の11,800余人も対象。
- 2024年からデジタル教科書が登場。タブレットを使用し紙ベースとデジタルの併用になる。
- 盛農卒業生・岩大農学部卒業生、就農者1%のみ? 農業大学校は70%が就農者になる。
- LED街灯の効果は電気料8,303万円が4,743万円に42.9%の削減。値上げ後も33.8%削減になる。

時節柄、ご自愛ください。(政務活動費で作成)

盛岡市馬場町2-9 盛岡市議会議員 村田芳三 ☎654-2866

郵便はがき 通数証明書

令和5年1月17日

郵便はがき

3542 通受領致しました

発行人住所

盛岡市馬場町 2-9

発行人氏名

村田 芳三

3542 × 63 = 223,146

